

会議の名称	議員定数・報酬等検討 特別委員会 議員定数分科会	開催月日・令和7年10月01日 開会時間・午前・午後03時25分 閉会時間・午前・午後03時40分
出席者	安藤 誠 佐藤 健 粟津 明 原 一郎 野口 佳宏 豊島 保夫	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者		
説明のために出席した者	浅井議会総務課長、堀議会総務課長補佐、森議会総務課主任	
協議事項	・議員定数について	

【開会＝午後 3 時 25 分】

豊島座長	定数分科会を開会いたします。分科会は賛否をとるものではございませんので、定数についての皆様のご意見を伺いたいと思います。
安藤委員	2人削減でお願いいたします。
佐藤委員	1人削減でお願いいたします。
栗津委員	現状維持でお願いいたします。
原委員	現状維持でお願いいたします。
野口委員	2人削減でお願いいたします。
豊島座長	現状維持でお願いいたします。 意見はすべてお聞きしましたので、今後は特別委員会でよろしくお願ひしたいと思います。
議会総務課長	後藤國弘委員長からは、分科会としての意見をまとめてほしいという指示がありました。委員の個々の意見を発表するだけでなく、分科会として意見をまとめる必要がございます。ほかの分科会もそのようにしております。
豊島座長	多数決をとる場合は現状維持の人数が多いですが。 政務活動費分科会は全会一致ということで、そこまで結論を出すことは難しくないと思いますが、定数分科会はこのような状況ですし。
佐藤委員	今回、委員5人のうち3人が削減の意見です。分科会の報告としては、削減ということで報告できるのではないかと思います。
豊島座長	正式に決めるのは特別委員会ですから。
議会総務課長	最終的にはもちろん特別委員会で決めるのですが、分科会として調査した中で、こういう方向性で結論が出ましたということで。
野口委員	分科会は6人いて、削減が3人、現状維持が3人ですか

	ら、そのように報告するしかないのではないでしょか。
	〔「佐藤委員からは座長を入れないという話がありました」と呼ぶ者あり〕
野口委員	ほかの分科会では座長を入れているのですか。
議会総務課員	報酬分科会は分かりませんが、政務活動費分科会は座長を入れておりません。そもそも全会一致でしたので。
豊島座長	<p>委員の意見としては先ほどのとおりとなりますが、採決をとることであれば、2人削減が2人、現状維持が2人、1人削減が1人です。</p> <p>このなかで、2人削減と現状維持が同数ですので、委員長採決ということで、座長の私は現状維持ですので、現状維持が3人、2人削減が2人、1人削減が1人ということで報告いたします。</p>
佐藤委員	<p>削減派が3人で現状維持が2人です。これは座長を入れずにそうなっておりませんので、報告としては減少ということでお願いします。</p> <p>その減少の中でも、2人削減の人数が最多であるということで報告していただきたいと思います。</p>
野口委員	<p>座長を入れなければ削減派が多いですし、その内訳は報告していただきなければなりません。</p> <p>ただ、座長には削減の人数を決定していかなければなりません。</p>
議会総務課長	削減の人数については、もう一度5人で多数決をとるという決め方もあります。
原委員	減少の場合の意見を改めて表明するということですね。
議会総務課長	まずは減少か現状維持か増員か決めます。減少が決まったならば、この全員で多数決をとって、1人なのか2人なのか3人以上なのか投票してもらい、分科会としての結論を出すという形です。
豊島座長	ほかの分科会もそういう扱いなのでしょうか。

議会総務課長補佐	報酬分科会の場合は、増額、現状維持、減少の中で、現状維持が一番多かったので、現状維持となりました。
野口委員	原委員は現状維持という意見で、削減するならば1人削減という意見をお持ちのようです。あとは栗津委員だけです。
豊島座長	<p>分科会での発言は報告しなければなりませんので、まとめます。</p> <p>野口委員と安藤委員は2人減、佐藤委員が1人減少、栗津委員と原委員は現状維持ということです。</p> <p>それで、削減のほうが多いので、削減する場合の人数ということで、野口委員と安藤委員は2人減、佐藤委員、栗津委員、原委員は1人削減ということで、分科会としての報告は1人減少ということで、よろしくお願ひいたします。</p> <p>以上で定数分科会を終了いたします。</p> <p>【閉会＝午後3時40分】</p>